

事務事業及び予算の執行実績（令和6年度分）

「一部、令和7年度分を含む」

静岡県立島田高等学校

# 目 次

1	事務事業に関すること	
	(1) 事務事業の概要	1
	(2) 事務執行の根拠法令調	20
	(3) 学校施設の概要	21
	(4) 在籍生徒調	23
	(5) 入学志願者及び入学者数調	23
	(6) 卒業生の動向調	24
	(7) 生徒の状況	25
	(8) 授業料収納状況調	26
2	職員に関すること	
	(1) 職員調	27
	(2) 職員の年齢調	30
	(3) 健康管理	30
3	予算の総括に関すること	
	(1) 県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	31
	(2) 預金調	31
	(3) 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	32
4	補助金等に関すること	
	(1) 委託料に関する調	34
	(2) 負担金支出調	36
5	工事に関すること	
	(1) 建築工事調	37
6	財産に関すること	
	(1) 公有財産調	39
	(2) 借地借家等調	41
	(3) 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	42
	(4) 行政財産貸付・使用許可調	43
	(5) 主要備品調	46

# 事務事業の概要

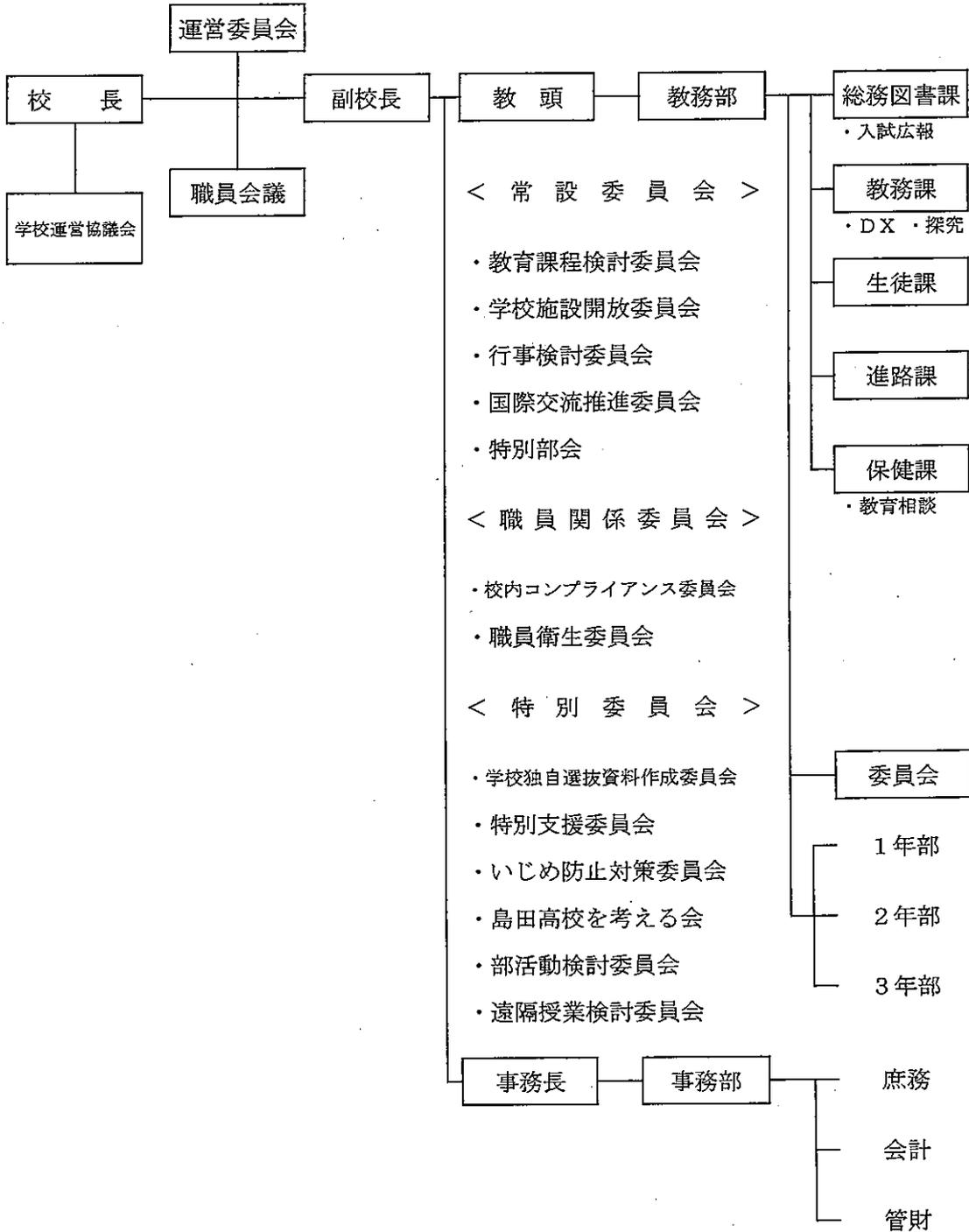
## 1 概況

### (1) 学校の沿革

大正8年3月1日	島田町外3か村学校組合立島田実科高等女学校設立許可 生徒定員200人、修業年限4年
8年4月8日	第1、2、3学年103人に対し、島田女子尋常高等小学校を仮校舎として入学式挙行
8年12月10日	静岡県志太郡島田実科高等女学校と校名変更
10年3月23日	島田町中河原の新校舎に移転
10年3月31日	静岡県志太郡島田高等女学校と校名変更、修業年限4年
10年11月16日	静岡県島田高等女学校と校名変更
昭和9年9月1日	静岡県立島田高等女学校と校名変更、生徒定員400人
10年5月7日	島田町稲荷島に移転
12年4月1日	補修科1学級増設、生徒定員450人
22年4月1日	修業年限を5年に変更、生徒定員500人
23年4月1日	学制改革により静岡県立島田高等学校に移行、生徒定員600人 併設中学第3学年3学級
24年4月1日	併設中学校卒業生のほか、新制中学校卒業生を募集 男女共学体制実施、生徒定員750人
27年10月11日	校歌制定
27年10月19日	運動場(3,901坪)新設
34年4月1日	島田商業高等学校金谷分校と小笠農業高等学校五和分校を合併し、 島田高等学校金谷分校として本校の管理に移管
35年10月5日	体育館兼講堂竣工
38年4月1日	生徒定員800人、金谷分校を県立に移管、定時制課程を廃止し、 全日制課程新設(生徒定員100人)
39年3月20日	プール新設
41年4月1日	生徒定員1,050人(各学年350人)
42年4月1日	金谷分校が県立金谷高等学校として独立
43年3月25日	武道場竣工
45年4月23日	校舎第1棟竣工
47年2月1日	校舎第2棟竣工
48年2月28日	弓道場竣工
48年4月1日	生徒定員945人(各学年315人)
49年3月31日	運動部室竣工
54年3月30日	学校敷地(国有農地12,612㎡)買収
54年9月14日	新体育館竣工
昭和55年4月1日	生徒定員990人(各学年330人)
56年1月24日	図書館竣工
56年4月1日	生徒定員1,035人(各学年345人)
56年10月31日	運動場夜間照明施設竣工
58年6月11日	校訓制定、校訓碑建立

60年4月1日	生徒定員1,080人(各学年360人)
61年3月26日	自転車置場(鉄骨2階建)新設
平成元年3月18日	生活館兼同窓会館「修己館」落成
元年4月1日	生徒定員1,125人(1年405人、2年360人、3年360人)
2年4月1日	生徒定員1,125人(1年360人、2年405人、3年360人)
3年4月1日	生徒定員1,125人(1年360人、2年360人、3年405人)
4年4月1日	生徒定員1,080人(各学年360人)
5年4月1日	生徒定員1,064人(1年344人、2年360人、3年360人)
6年4月1日	生徒定員1,040人(1年336人、2年344人、3年360人)
7年4月1日	生徒定員1,008人(1年328人、2年336人、3年344人)
8年4月1日	生徒定員 984人(1年320人、2年328人、3年336人)
9年4月1日	生徒定員 968人(1年320人、2年320人、3年328人)
10年4月1日	生徒定員 960人(各学年320人)
11年6月5日	創立80周年記念式典
13年4月1日	生徒定員 920人(1年280人、2年320人、3年320人)
14年4月1日	生徒定員 880人(1年280人、2年280人、3年320人)
14年6月14日	地震対策緊急整備工事竣工
15年4月1日	生徒定員 840人(各学年280人)
17年4月1日	生徒定員 800人(1年240人、2年280人、3年280人)
18年4月1日	生徒定員 760人(1年240人、2年240人、3年280人)
19年4月1日	生徒定員 720人(各学年240人)
20年11月23日	創立90周年記念式典
22年2月26日	校舎第1棟及び校舎第2棟給水管改修工事竣工
22年8月27日	弓道場改築工事竣工
23年2月28日	昇降所棟耐震補強工事及び図書館耐震補強工事竣工
24年2月17日	校舎第1棟及び校舎第2棟普通教室等改修工事竣工
24年2月17日	部室棟(自転車置場西側)新築工事竣工
24年3月15日	第2体育館改築工事及び格技場耐震補強工事竣工
28年3月11日	校舎外壁改修、武道場屋根改修工事完成
28年4月1日	生徒定員 680人(1年200人、2年240人、3年240人)
29年4月1日	生徒定員 640人(1年200人、2年200人、3年240人)
30年4月1日	生徒定員 600人(各学年200人)
30年10月21日	創立100周年記念式典
令和6年4月1日	生徒定員 560人(1年160人、2年200人、3年200人)
7年2月12日	校舎第1棟及び校舎第2棟耐震補強工事竣工
7年4月1日	生徒定員 520人(1年160人、2年160人、3年200人)

(2) 組織図



## 2 目指す学校像

### (1) スクールミッション

専門的な学びのための高等教育に備える志檜地域の高校として、良き伝統、校風を継承発展させ、主体的な授業、充実した課外活動、学校行事を通して、新たな社会の形成者としての高い知性、豊かな感性、健やかな心身、多様な国際感覚を備え、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

### (2) スクールポリシー

グラデュエーション・ポリシー ～卒業までに育成を目指す資質・能力に関する方針～

○現代社会を主体的に生き抜く逞しさを持った生徒

○新たな社会の形成者として、高い知性、豊かな感性、健やかな心身を備え、将来、地域社会に貢献できる生徒

○校訓、「希望」「友情」「努力」のもと、こころざしのあり方、人としての生き方、社会貢献への使命感を自らに問いかけながら学業に取り組む生徒

カリキュラム・ポリシー ～教育課程の編成・実施に関する方針～

○生徒の高いこころざしを育成して希望する進路の実現を図るために、ICTを利活用しながら授業外学習と連動した質の高い授業を創造する

○「人として正しく生きる」ために自立した生活態度の育成を図り、多様な価値観に対応した規範意識を涵養する

○豊かな人間性、国際感覚、他者との良好な関係づくりとソーシャルリテラシーを備え、現代社会で逞しく生き抜く力を養う

アドミッション・ポリシー ～入学者の受け入れに関する方針～

○高いこころざしをもち、自ら学び、向上しようとする生徒

○出会いを大切に、互いに信頼関係を築き、人としての生き方を追求する生徒

○夢や目標の実現を目指し、自分を磨き、挑戦する生徒

### (3) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 進路実現のための授業改善と基礎基本の定着

イ 基本的な生活習慣の確立と規範意識の涵養

ウ 主体的に生きる力と社会的リテラシーの育成

エ 学習・教育環境の整備と地域の信頼を担う学校づくり

オ 広報活動の充実と中高・高大連携の推進

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
ア	生徒の高い ころざし を育成し希 望する進路 の実現を図 るために、 ICTを利 活用しなが ら授業外学 習と連動し た質の高い 授業を創造 する。	学習活動に積極 的に取り組み、 日々の学習習慣 が身に付いたと 感じる生徒 70% 以上	各項目に取り組めた 割合は、予習、授 業、復習 61.4%、計 画的な学習 75.0%、 学習習慣の定着 77.3%であった。そ れらの平均は 71.5% であった。各項目と もに 3 年生は高い割 合で取り組めてい た。	A	予習、授業、復習の 1、 2 年生の平均は 54.7%と 低かった。これらに主体 的に取り組む生徒を増や していきたい。
		学習の成果を把 握、分析し、目 標達成に向けて の意欲が高まっ たと感じる生徒 70%以上	定期テストや学力診 断の結果から学習の 成果を把握、分析 し、学力向上や進路 実現などの目標達成 に向けての意欲が高 まった生徒は 77.7% であった。		定期テストや学力診断な どの評価は、生徒の学習 意欲を高めることがわか ったが、学習意欲を維 持、継続させる工夫も必 要だと考える。
		授業への主体的 な取り組みによ り、自己肯定感 が高まった生徒 80%以上	授業へ主体的な取り 組みにより、「やれ ばできる」や「成長 を実感できた」など の自己肯定感が高ま った生徒は 80.4%で あった。	A	「やればできる」や「成 長を実感できた」と感じ ることは教育にとって大 変有意義なことである。 教員はそう感じさせるた めにどのような取り組み ができるかを考えていく ことが大切である。
		職員相互の授業 見学を通じて授 業改善につなが った教員 70%以 上	職員相互の授業見学 を通じて授業改善に つながったと答えた 教員は 85.7%であっ た。		生徒アンケートの結果や 授業での生徒の表情など から改善点を見つけるこ とができる。日々、授業 改善の意識を持ち続ける ことが大切である。

	教科内でICT活用研修を実施し、授業改善につながった教員70%以上	ICT研修により授業改善につながったと答えた教員は80.0%であった。		百問繚乱の導入もあり、ICT活用が定着しつつあるため、別の視点からの研修も必要である。
	放課後補講、土曜補講に意欲的に参加し、知識や思考力、判断力が身に付いた生徒80%以上	意欲的に参加し、知識や思考力、判断力が身に付いた生徒土曜補講85.9%、放課後補講94.3%	A	受講率は土曜補講約60%、放課後補講70%であり、多くの生徒が意欲的に参加した。内容の充実とともに無断欠席などへの対策が課題である。
	夢応援プロジェクトや探究学習に主体的に取り組み、進路について深く考えることができた生徒80%以上	夢応援プロジェクトや探究学習に主体的に取り組み、進路について深く考えることができた生徒88.2%		専門職養成プロジェクトでは、本校卒業生により3分野で実施した。探究学習では、3年間を見通した計画的な指導の構築を行っていく必要がある。
	しまこう学問探究ナビで学問への興味関心が高まった生徒80%以上	学問探究ナビで学問への興味関心が高まった生徒90.1%		15分野の大学の講師をお招きして実施することができた。今後は生徒数が減少するなかで、講座数の維持が課題である。
	保護者進路講座により、子どもの進路に対する関心が高まった保護者80%以上	保護者進路講座により、子どもの進路に対する関心が高まった保護者91.8%		多くの保護者が参加していただき、好評であった。今後も教員、保護者双方の負担軽減を検討しながら継続していきたい。
	個別面談を年間5回以上実施し、進路実現に役立った生徒80%以上	面接は各クラス5回以上実施。93.1%の生徒が個別面談が進路実現に役立ったとアンケート回答。		A

				務時間外の面接について検討したい。
	放課後補講、土曜補講に意欲的に参加し、知識や思考力、判断力が身に付いた生徒 80%以上	各補講受講率は、土曜補講（前期）70.2%、土曜補講（後期）58.1%、放課後補講（前期）79.5%、放課後補講（後期）64.0%。90%の生徒が知識、思考力、判断力が身についたとアンケート回答。		受講した生徒の多くは、真剣に取り組んでいた。補講について説明の機会を増やし、補講の意義を伝える。無断欠席を減らすよう指導を徹底する。
	1週間の学習時間の合計が14時間以上達成生徒 70%以上	一週間の学習時間の合計が14時間以上の生徒は 30.4%		生徒は、課題には概ね取り組んでいるが、十分に時間を取れない生徒もいた。英語検定など外部試験に取り組む生徒は多いが、時間数としては家庭学習の定着にはつながらなかった。
	進路情報を的確に捉え、自らのキャリア形成につながった生徒 80%以上	進路情報を的確にとらえ、自らのキャリア形成につながった生徒 89%	A	進路通信、HR活動、LP、大学訪問など進路について考える機会を計画的に持てた。
	学年通信発行年間 12回以上	年 12回発行		定期的に発行できた。
	修学旅行を通して視野が広がったと感じる生徒 80%以上	修学旅行を通して視野が広がったと感じる生徒 97.7%		平和教育については不十分だったが異文化理解研修についてはHR活動、英語・国語など教科の時間も使い事前学習ができた。

		1日平均1.5時間以上の学習達成生徒70%以上	「あてはまる、ややあてはまる」と回答した生徒は32.6%であった。	B	短期的な計画（課題提出）はできているが、長期的な計画（試験対策等）まで、主体的に取り組むための指導が難しかった。
		進路情報を的確に捉え、自らのキャリア形成につながった生徒70%以上	自らのキャリア形成につながった生徒は、74%であった。		探究では、地元企業の取り組みにはどのような価値があるのかを、調べ学習、活動、発表などを通して理解を深めることができた。
		学年通信発行年間10回以上	年12回発行		定期的に発行できた。
イ	人として正しく生きるために、自律した生活態度の育成を図り、多様な価値観に対応した規範意識を涵養する。	校内外において気持ちの良い挨拶ができる生徒80%以上	・校内外において気持ちの良い挨拶ができる生徒は、1年89%、2年89%、3年86%でした。	A	代表委員による朝の挨拶運動の成果だと感じる。他の委員会や部活動の参加も考えていきたい。
		学校や社会、交通マナーを守り、自他の安全を確保できた生徒80%以上	・学校や社会、交通マナーを守り、自他の安全を確保できた生徒は、1年96%、2年96%、3年98%でした。		イエローカード指導や交通事故は減少しているが、地域から苦情が寄せられることがある。より一層の自覚を促していきたい。
		六月祭など学校行事に主体的に取り組む生徒90%以上	・六月祭など学校行事に主体的に取り組む生徒は、1年95%、2年95%、3年95%でした。		生徒会中心に生徒主体で行事に参加していた。一部の生徒だけでなく、全員がかかわる行事のあり方を今後も検討していきたい。
		規則正しい生活により、8:20着席が実現できる生徒100%	・規則正しい生活により、8:20着席が実現できる生徒は、1年96%、2年96%、3年92%でした。		学年、担任、副担任の声かけにより、落ち着いて一日が始められている。学校全体が一つになって

				今後も指導をしていきたい。
		高校生活が充実していたと回答する生徒 80%以上	90%以上の生徒が、高校生活が充実していたと回答	A 朝学習や清掃の取り組みも良く、落ち着いた学校生活を送っていた。生徒の生活指導においては、教員の価値観も多様化する中で学年職員の共通理解が欠かせない。Googleフォームでの欠席連絡については検討の余地がある。
		高校生活が充実していると回答する生徒 80%以上	高校生活が充実していると回答した生徒 82.8%	A 学校行事、学習活動、部活動に中心となって取り組み、成果を上げた。
		高校生活が充実していると回答する生徒 80%以上	80%の生徒が充実していると回答。	意欲的に行動しようとする意識が見みられた。主体的に行動できるように指導していきたい。
		保育体験学習によりコミュニケーション能力が高まった生徒 70%以上	直前にインフルエンザ陽性者が多数発症したため、中止としました。	A 日ごろからの感染症対策を心掛けたい。
		演劇教室に参加した生徒の満足度 70%以上	演劇教室に参加した生徒の満足度は 83%でした。	演劇の魅力に触れることができた。演劇を構成する照明、衣装、音響等の仕事に対しても興味を持っていた。
ウ	豊かな人間性、国際感覚、他者との良好な関係づくりを身につけ、	学校行事等を通して、チーム志向や協力の大切さを実感する生徒 90%以上	・学校行事等を通して、チーム志向や協力の大切さを実感する生徒は、1年 97%、2年 96%、3年 93%でした。	A 教員主導ではなく、生徒に任せることで一体感が生まれている。より良いものにするために、教員の関わり方等を含めた生

	環境の整備や、地域・関係外郭団体との協働により安全で安心な学校づくりを目指す	が必要であると回答する生徒70%以上	78.3%、2年79.7%、3年75.7%であった。		率は44%にとどまったので参加を促したい。
		業務の効率化・平準化・適正化が図られたと回答する職員70%以上、職員室の最終退出時間20時15分以内	業務の効率化・平準化・適正化は、80%と目標を達成した。一方、職員室の最終退出時間平均は、20時23分であった。	B	業務の効率化・平準化・適正化は、かなり進んでいるが、超過勤務時間は、45時間以上延べ143人、80時間以上延べ25人であった。更なる業務改善を推進していく必要がある。
		施設、設備に起因した校内事故の発生件数0	施設の老朽化に起因する事故（生徒の軽傷）が1件発生した。		施設・設備の老朽化に起因する事故の発生は、未然に防ぐことが困難な場合もあるが、引続き日常的な巡回や点検を継続し、積極的な情報収集を行う。
		申請書類の期限内提出率95%以上、差戻し率5%未満	申請書類の期限内提出率100% 差戻し率1.1%	B	制度の周知や申請書類の説明資料について工夫し、目標を十分に達成した。来年度以降も継続していく。
	学校経営予算の執行率99%以上、外郭団体の予算執行残額25万円未満	学校経営予算の執行見込みは概ね99%、外郭団体の予算執行残額は30万円程度の見込み。		限られた予算を、学校運営のために適正に執行できた。外郭団体の予算についても、在籍している生徒のために有効に執行できた。	
オ	丁寧な生徒指導・進学指導を垂範する進学校として教育活動・教育実践を的確	ホームページ更新年間150回以上、インスタ投稿1日1回以上、中学校向け進路通信年間12回以上、中学校	インスタグラムの更新回数は360回を数えるが、毎日更新することはできなかった。	B	回数を目標とすることで内容が薄くなるがあるので、充実した記事を適切な時期に公開できるよう目標の立て方を見直す。

に発信するとともに、連携接続のための情報収集・情報交換を密にする	校訪問年間2回以上により、令和7年度入学者選抜の定員を充足する。			
	学校からの配信等により、学校の様子を知ることができ、学校の教育活動への関心が高まった保護者75%以上。	ホームページを新しくし、見やすさ見栄えと、利便性を高めることができた。インスタグラムの配信数を大幅に増やした。	A	連絡・配信ツールの統一を次年度に行い、保護者にとってのわかりやすさ、利便性を高めたい。

(2) 令和7年度の取組目標への評価及び成果と課題  
(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
ア	生徒の高いところざしを育成し希望する進路の実現を図るために、ICTを活用しながら授業外学習と連動した質の高い授業を創造する	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な学習習慣を確立し、ICTも活用しながら主体的、協働的な学びを実現する</li> <li>「学びの基礎診断」や「到達度テスト」の結果を踏まえて目標達成までの道のりを具体化させ、高いところざしを育成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動に積極的に取り組み、日々の学習習慣が身に付いたと感じる生徒70%以上</li> <li>学習の成果を把握、分析し、目標達成に向けての意欲が高まったと感じる生徒70%以上</li> </ul>	教務
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的・対話的で深い学び」と、生徒の自己肯定感の向上を実現するための学習評価につながる授業改善を、教員相互の学び合いによって進める</li> <li>探究活動の指導に資するファシリテーション能力育成研修を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への主体的な取組により、自己肯定感が高まった生徒80%以上</li> <li>職員相互の授業見学を通じて授業改善につながった教員70%以上</li> <li>ファシリテーション能力育成研修が、生徒指導や授業改善につながった教員70%以上</li> </ul>	研修

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した進路指導計画を策定し、生徒自ら進路実現を果たす</li> <li>・生徒、保護者、教員が有機的に繋がり、生徒が主体的に進路選択をできるように、時機を得た情報提供をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後補講、土曜補講に意欲的に参加し、知識や思考力、判断力が身に付いた生徒 80%以上</li> <li>・夢応援プロジェクトや探究学習に主体的に取り組み、キャリア形成について深く考えることができた生徒 80%以上</li> <li>・しまこう学問探究ナビで学問への興味関心が高まった生徒 80%以上</li> <li>・保護者進路講座により、子どもの進路に対する関心が高まった保護者 80%以上</li> <li>・島田高校で丁寧な進路指導を受けたと感じる生徒 80%以上</li> </ul>	進路
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒との個別面談を年間5回以上実施し、個々の適性に合った指導を行う</li> <li>・放課後補講、土曜補講を計画的に実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面談が進路実現に役立った生徒 80%以上</li> <li>・放課後補講、土曜補講に意欲的に参加し、知識や思考力、判断力が身に付いた生徒 80%以上</li> </ul>	3年部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境の整備を促して家庭学習の習慣を定着させる</li> <li>・HR活動・総合的な探究の時間、学年通信を活用して進路情報を適切に提供する</li> <li>・修学旅行および事前・事後研修を通じて幅広い視野を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の学習時間の合計が10時間以上達成生徒 70%以上</li> <li>・進路情報を的確に捉え、自らのキャリア形成につながった生徒 80%以上</li> <li>・学年通信発行年間10回以上</li> <li>・修学旅行を通して視野が広がったと感じる生徒 80%以上</li> </ul>	2年部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境の整備を促して家庭学習の習慣を定着させる</li> <li>・HR活動・総合的な探究の時間、学年通信・進路通信等を活用して進路情報を適切に提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日平均1.5時間以上の学習達成生徒 70%以上</li> <li>・進路情報を的確に捉え、自らのキャリア形成につながった生徒 70%以上</li> </ul>	1年部

イ	人として正しく生きるために、自律した生活態度の育成を図り、多様な価値観に対応した規範意識を涵養する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を確立し、自律的な生活態度の育成を図る</li> <li>・HR活動、生徒会活動、委員会活動、部活動、学校行事、校外活動等への積極的な参加を促す</li> <li>・落ち着いた学校生活を送るために、余裕ある登校を指導する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外において気持ちの良い挨拶ができる生徒 80%以上</li> <li>・学校や社会、交通マナーを守り、自他の安全を確保できた生徒 80%以上</li> <li>・六月祭など学校行事に主体的に取り組む生徒 90%以上</li> <li>・規則正しい生活により、8:20 着席が実現できる生徒 100%</li> </ul>	生徒
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な生徒指導の中で規範意識を醸成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生活が充実していたと回答する生徒 80%以上</li> </ul>	3年部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な生徒指導の中で規範意識を醸成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生活が充実していると回答する生徒 80%以上</li> </ul>	2年部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な生徒指導の中で規範意識を醸成する</li> <li>・今後の生き方・在り方を考える契機として保育体験実習を実施する</li> <li>・舞台芸術への導入として演劇教室を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生活が充実していると回答する生徒 80%以上</li> <li>・学年の中で主体的、協働的に他者と関わることができた生徒が 80%以上</li> </ul>	1年部
ウ	豊かな人間性、国際感覚、他者との良好な関係づくりを身につけ、現代社会で逞しく生き抜く力を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動やボランティア活動等に積極的に取り組ませる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等を通して、チーム志向や協力の大切さを実感する生徒 90%以上</li> <li>・部活動の目標を達成できるように努力した生徒 90%以上</li> <li>・ボランティア活動を通して共感力を実感した生徒 80%以上</li> </ul>	生徒
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続して欠席をした生徒に対して早期に適切な面談を行う</li> <li>・ケース会議、特別支援委員会を定期的に行き、組織的対応を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内に相談できる相手がいる生徒 90%以上</li> </ul>	保健
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を通して豊かな教養、感性を養う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を通して、読解力や文章表現力が高まり、価値の創造に影響があった生徒 70%以上</li> </ul>	図書

エ	適正かつ効率的な予算執行による学習・教育環境の整備や、地域・関係外郭団体との協働により安全で安心な学校づくりを目指す	・東南海地震に対する防災意識を高め、自分の身を守るだけでなく、地域で果たすべき役割を自覚させる	・地域防災訓練へ参加することで地域との連携など自発的な行動が必要であると回答する生徒70%以上	総務
		・業務改善案に基づき、業務の効率化・平準化・適正化を推進する	・年間で月45時間以上勤務する教員計が130人以内、80時間超が20人以内 ・職員室の最終退出時間20時15分以内	管理職
		・施設・設備に起因した事故の発生を防止するため、日常的な巡回や職員安全衛生委員会等から情報収集を行う ・静岡県通常予算に加え、関係外郭団体予算を積極的に活用する	・施設、設備に起因した校内事故の発生件数0  ・学校経営予算の執行率99%以上、外郭団体の予算執行残額30万円未満	事務部
オ	丁寧な生徒指導・進学指導を垂範する進学校として教育活動・教育実践を的確に発信するとともに、連携継続のための情報収集・情報交換を密にする	・管理職、主管分掌（教務、総務、進路）と連携して本校の教育活動の魅力を中学校や地域へ広く発信する  ・担当者による複数回訪問を実現し中学校との関係性を築く	・ホームページを行事、キャリア教育（探究）、部活動の記録を中心に更新する。インスタは生徒のプライバシーに十分配慮しながら、特に中学生にとって魅力的なものとなるよう更新する ・令和8年度入学者選抜の定員を充足する	広報
		・学校ホームページや一斉配信システム等を活用し、生徒の状況や活動、感染症や災害対応等をわかりやすく適時に配信することで、保護者や地域との連携を深める	・情報ツールを一元化し、教員と保護者にとって簡便でわかりやすく適切な情報伝達ができるようにする	管理職

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
	学習習慣を確立し、確かな学力の育成と、教員の	「フォーサイト手帳」を活用して、生徒自らが、学習計画を立て、振り返りを実施することで学習のセルフマネジメントを推進し、定期的に点検、助言を与え、マネジメント力が定着してきた。これらの機能は維持しながら、一人一台端末を活用する

令和 6 年度	指導力を高め、わかる授業を創造する。	方向を検討した。各教科で授業改善に取り組んだ。特に、「主体的に学習に取り組む態度」をどう評価するかを、教科ごとに内容を検討し、相互に状況を確認することで共通認識につながった。授業公開期間を年間2回設定し、全教員が教科を超えて授業参観を実施し、教科横断的な視点で授業改善に取り組む機会とした。さらに、授業支援クラウドの試行を通じて、効果的なICTの利活用について情報交換を行い、主体的、対話的、深い学びにつながる取り組みを実践した。
	高いところざしを育て、自ら学び、未来を展望した探究活動を充実する。	「夢応援プロジェクト」の実施をとおして、公務員、教員、医療従事者などの専門職育成と各企業等との連携による産業人育成と、様々な職種の方との交流を通じ、生徒の自己実現を果たす内発的動機付けの機会となった。また、探究活動では夏休みを活用して、関わりのできた企業の方にインタビューを実施することでより深い学びの実現を推進した。
	進路指導を充実し、進路実現を支援するために、「しまこう学問探究ナビ」、「保護者進路説明会」は継続実施する。	「しまこう学問探求ナビ」（9月）は、全国16大学から講師を招聘し、大学の講義に直接触れる機会を提供する事業である。「保護者進路説明会」は年間8回を土曜日に実施し、大学入試の仕組みや最新の進路情報を保護者に提供した。事後アンケートによると参加者の満足度は高い。しかし、週休日の開催のため、担当する教員の負担軽減には課題が残った。
	進学校としての教育実践を適切に実行するために、生徒の主体性を育む。	学校行事、HR活動、生徒会活動、部活動やボランティア活動等への積極的参加を促した。島田市の「高校生ラジオ」や「高校生ワークショップ」等に生徒を派遣するとともに、探究活動の発表会等にも積極的に参加した。
令和 7 年度	学習習慣を確立し、確かな学力の育成と、教員の指導力を高め、わかる授業を創造する。	生徒自らが、学習計画を立て、振り返りを実施する学習のセルフマネジメントを電子端末を活用し推進していく。教員は、各教科で授業改善に取り組むとともに、「総合的な探究の時間」の充実のために内容の検討、状況確認、生徒への声掛け等の計画と実践に取り組む。授業公開期間を年間2回設定し、全教員が教科を超えて授業参観を実施し、教科横断的な視点で授業改善に取り組む機会とする。
	高いところざしを育て、自ら学び、未来を展望した探究活動を充実する。	「夢応援プロジェクト」の実施をとおして、公務員、教員、医療従事者などの専門職育成と各企業等との連携による産業人育成と、様々な職種の方との交流をおこなう。また、「総合的な探究の時間」における探究活動では夏休みを活用して、関わりのできた企業の方にインタビューを実施することでより深い学びの実現を推進する。
	進路指導を充実し、進路実現を支援するために、「しまこう学問探究ナビ」、「保護者進路説明会」を実施する。	生徒対象に、全国16大学から講師を招聘し、大学の講義に直接触れる機会を提供する「しまこう学問探求ナビ」を9月に開催する。保護者対象に、「保護者進路説明会」は年間8回実施し、大学入試の仕組みや最新の進路情報を保護者に提供する。また説明会を担当する教員の負担軽減を図る。
	進学校としての教育実践を適切に実行するために、生徒の主体性を育む。	学校行事、HR活動、生徒会活動、部活動やボランティア活動等への積極的参加を促す。島田市立第一中学校の学習支援ボランティアとして「寺子屋」への生徒の参加を促した。今後、探究活動の発表会等も積極的に参加するよう促す。

5 教職員について

(1) 異動状況

区分	補職名										教諭(臨時)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	部活動指導員	臨時職員計	合計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	事務長	主査	主事	本務職員計								
転出	0	1	0	4	0	0	1	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	8
退職	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	0	4	5
転入	0	1	0	3	0	0	1	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6
新規採用	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	4	0	1	1	6	8
再任用	退職	0	0	0	7	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
	任用	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
差引増減	0	0	0	△5	0	0	0	1	△1	△5	△1	0	2	0	0	1	2	△3

(2) 現員数

(令和7年7月31日現在)

補職名	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	事務長	主査	主事	本務職員計	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	部活動指導員	臨時職員計	合計
人数	1	1	1	33	1	1	1	2	1	42	1	10	2	1	3	17	59

(3) 健康管理について

職員の健康管理には常に注意するとともに、生活習慣病検診・人間ドック・指定年齢検診を必ず受けるよう指導している。その結果は概ね良好であるが、異常のみられた職員に対しては早急に精密検査を受け、治療を要する職員には、早期に医療機関を受診するよう指導している。

ストレスチェックの結果は、低ストレスであり、医師による面接指導が必要と判断された職員はいなかった。超過時間勤務時間が多い職員には、個別面談を実施している。

「職員衛生委員会」を定期的に開催し、超過勤務者の確認など健康状態の把握を行い、希望者には、健康管理医による健康相談を実施している。令和6年度に健康相談を希望した職員1名は職務の見直しなどによる業務の平準化により改善傾向となり、4月に異動した。また、定期的に校内巡視し、危険な箇所等を確認するなど職場環境の改善に努めている。

(4) 教職員の研修について

校内研修は、教務研修課を中心に、目標達成に向け、研修テーマに基づいた研修会を計画的に実施している。また職員は、県教育委員会や各種研究会・予備校等が主催する研修会に積極的に参加し、資質と見識の向上に努めている。

年度	項目	内容
令和6年度	目標	生徒の学習意欲を高めるためにICTを授業の中で効果的に活用する方法を学び授業改善に結びつけていく
	研修内容	(1学期)・授業見学週間(互いに見学し、学び合う) ・不祥事根絶推進月間(不登校生徒への対応について) ・全体研修会(効果的なICT活用) (2学期)・授業見学週間(互いに見学し、学び合う) ・定期訪問 (国語・理科の研究授業・研究協議、全体研修会) (3学期)・令和7年度シラバス作成 ・研修成果報告書作成
	成果と課題	(成果)一人一台端末の環境整備が整い、ICTを利活用した授業の実践が定着してきた。このことにより、効率的な授業展開がされることで、生徒の理解が深まり、結果的により深い学びにつながった。 (課題)ICTの活用に関しては、継続的な教員の研修が不可欠である。今後も、生徒の思考が深まるためのICT活用に関して、継続した研修が必要である。
令和7年度	目標	教職員の質問力の向上
	研修内容	(1学期)・全体研修会(「総合的な探究の時間」とは) ・授業見学週間(互いに見学し、学び合う) ・不祥事根絶推進月間(生徒の人権について) (2学期)・定期訪問 (数学、地歴公民の研究授業・研究協議、全体研修会「生徒、保護者の支援に必要な教職員の質問力」(学校独自)) ・授業見学週間(互いに見学し、学び合う) (3学期)・令和8年度シラバス作成 ・研修成果報告書作成

6 防災対策について

年度	項目	内容
令和6年度	目標	自らの命は自らで守るという基本に立って、危機管理能力と意識を育てる。 1 防災教育の徹底と地域防災訓練等への積極的参加の促進 2 避難地・避難所としての円滑な運営体制の確立
	取組内容	1 年2回の校内避難訓練は避難経路の確認等を図上訓練で実施した。自治体の防災訓練への積極的な参加を呼びかけた。 2 地元自治会、島田市との「避難地・避難所運営連絡会」を年2回持った。防災備品の点検を年2回実施した。 3 1年生が居住地周辺及び通学路のハザードマップを作成した。

	成果と課題	1 地域防災訓練への参加 中止や規模縮小の地域があった。 2 「避難地・避難所運営連絡会」の開催 地元自治会と島田市とともに、避難地・避難所運営組織の確認をした。 また、防災備品の点検を行った。 3 防災意識の醸成 1年生が居住地周辺及び通学路のハザードマップを作成し、防災意識を醸成した。
令和7年度	目 標	自らの命は自らで守るという基本に立って、生徒と教職員の危機管理能力と意識を育てる。 1 危機管理能力と意識の育成 防災教育と地域防災訓練等への参加の声掛け 2 避難地・避難所としての運営体制の確認
	取組内容	1 避難訓練 図上訓練では、避難経路の確認等を実施する。避難訓練では落ち着いて行動できる力を醸成する。自治体の防災訓練への積極的な参加を呼びかける。 2 避難地・避難所運営連絡会 年2回、地元自治会と島田市とともに、「避難地・避難所運営連絡会」を開き、情報交換を行う。 年2回、校内の防災備品を点検する。 3 防災意識の醸成 1年生が居住地周辺及び通学路のハザードマップを作成し、防災意識を醸成する。

7 学校開放について

社会教育の普及及び振興のために、地域住民等の要請に応じて体育館等の学校施設の開放を実施している。

令和6年度の利用状況

施設名	延利用日数	延利用人数	主な利用種目・団体	備 考
第1体育館	213日	2,668人	バスケットボール、バレーボール 地域住民6団体	利用者負担金 年間電気料金 62,397円
第2体育館	141日	1,126人	バドミントン、インテイク、卓球 地域住民4団体	
武道場	108日	1,328人	剣道 地域住民3団体	
合 計	462日	5,122人		

令和7年度の利用状況

(令和7年7月31日現在)

施設名	延利用日数	延利用人数	主な利用種目・団体	備 考
第1体育館	76日	748人	バスケットボール、バレーボール 地域住民6団体	利用者負担金 年間電気料金 19,988円
第2体育館	50日	319人	バドミントン、インテイク、卓球 地域住民4団体	
武道場	37日	290人	剣道 地域住民3団体	
合 計	163日	1,357人		

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、 第56条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第9条、第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法（第8条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条、第5条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第44条、第45条、第47条）

## 学校施設の概要

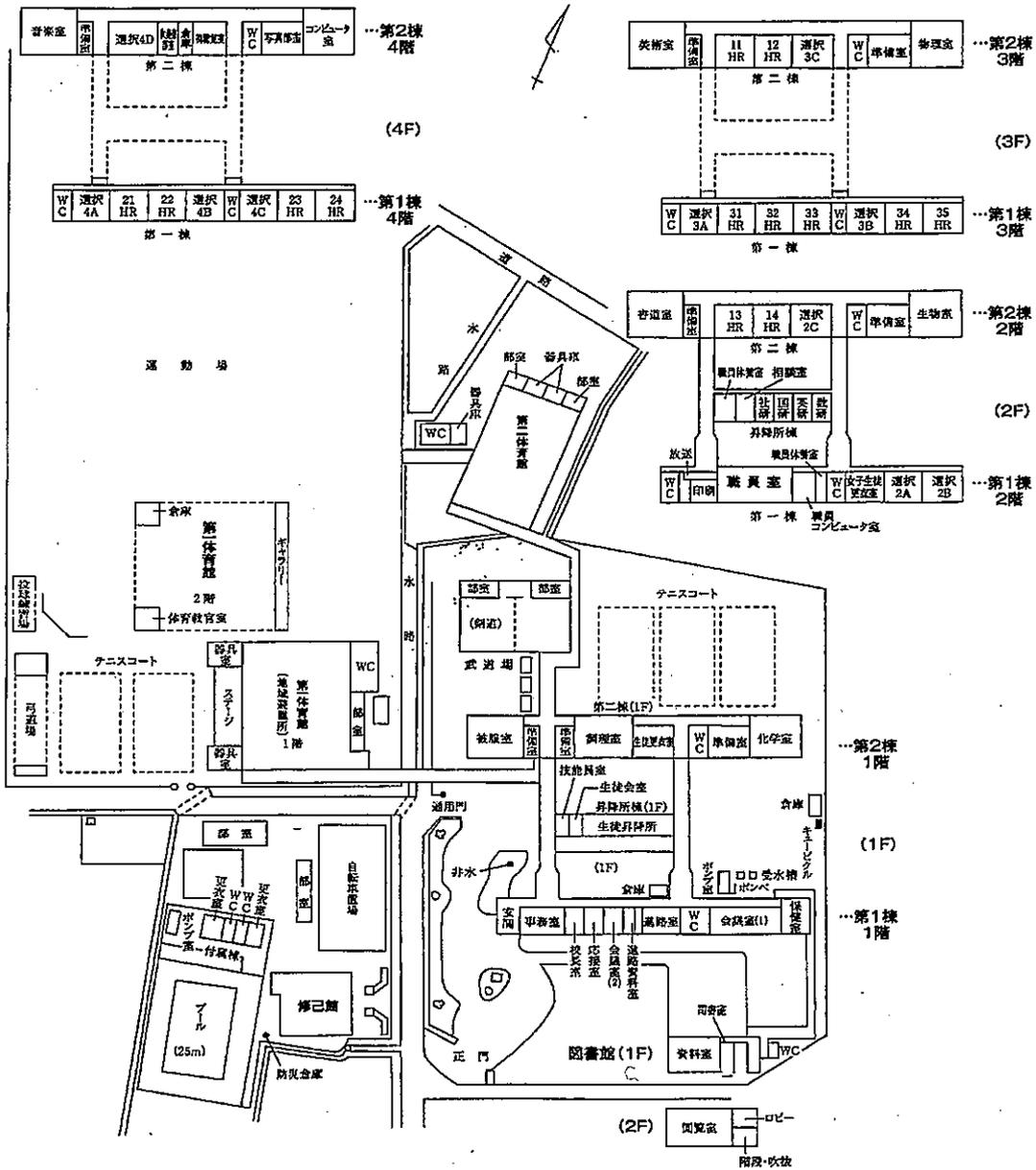
### 1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	34,347.49	34,347.49					
内 訳	校舎敷地	17,900.73	17,900.73				
	運動場敷地	16,446.76	16,446.76				
	そ の 他 の 敷 地						
校 舎	<u>建2,006.94</u> 延7,099.44	<u>建2,006.94</u> 延7,099.44					
体 育 館	<u>建2,023.45</u> 延2,052.89	<u>建2,023.45</u> 延2,052.89					
武 道 場	<u>建584.11</u> 延494.58	<u>建584.11</u> 延494.58					
その他の建物	<u>建2,182.06</u> 延2,933.00	<u>建1,982.62</u> 延2,654.81			<u>建199.44</u> 延278.19		
生 活 館	<u>建321.66</u> 延798.34				<u>建321.66</u> 延798.34		
プ ー ル	1個	1個					25m×16m 8コース

## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図



### (2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	34,347.49㎡	7,099.44㎡	16,446.76㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

# 在籍生徒調

(令和7年7月31日現在)

学年	学科別 区分		全日制普通科			
			定員	男子	女子	計
1年	入学者		160	72	95	167
		増加		0	0	0
		減少		0	0	0
	現在			72	95	167
2年	入学者		160	95	69	164
		増加		0	0	0
		減少		0	2	2
	2年時当初			95	67	162
		増加		0	0	0
		減少		0	0	0
	現在			95	67	162
3年	入学者		200	92	104	196
		増加		(1)	0	(1)
		減少		4	4	8
	2年時当初			89	100	189
		増加		0	0	0
		減少		1	2	3
	3年時当初			88	98	186
		増加		0	0	0
		減少		0	0	0
	現在			88	98	186
合計				255	260	515

( )内は留年人数

## 入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		普通	普通	普通	普通	普通
生徒定員 (A)		200	200	200	160	160
募集者数 (B)		200	200	200	160	160
志願者数	男	117 (2)	97 (2)	90 (3)	100	72 (2)
	女	72 (1)	84 (1)	104 (1)	69	95
	計 (C)	189 (3)	181 (3)	194 (4)	169	167 (2)
受検者数	男	117 (2)	95 (2)	90 (3)	98	70 (2)
	女	72 (1)	82 (1)	104 (1)	69	95
	計 (D)	189 (3)	177 (3)	194 (4)	167	167 (2)
合格者数	男	117 (2)	94 (2)	89 (3)	95	72 (2)
	女	72 (1)	82 (1)	103 (1)	69	95
	計 (E)	189 (3)	176 (3)	192 (4)	164	167 (2)
志願倍率 (C)/(B)		0.93	0.89	0.97	1.06	1.04
受検倍率 (D)/(B)		0.93	0.87	0.97	1.04	1.04
入学者数	男	116	94	92	95	72
	女	72	82	104	69	95
	計 (F)	188	176	196	164	167
充足率 (F)/(A)		0.94	0.88	0.98	1.03	1.04

( )内の数字は追検査人数

# 卒業生の動向調

(高等学校用)

## 1 進路状況

学 科 別		全日制普通科		
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数		156	180	169
(進学志願者)		(156)	(180)	(169)
内 学 者	進 学			
	大学・短大	133	158	145
	専修・各種学校等	15	14	13
	小 計	148	172	158
訳	就職者	0	1	3
	自営者	0	0	0
	進学準備者	8	8	8
	その他	0	0	0
合 計		156	181	169

## 2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	0	1	3
求 人 数	172	104	170
求人倍率	0	104.0	56.6

## 3 資格取得状況 (令和6年度)

学 科 別		全日制普通科
卒業生徒数		169
資格の 取得状況	実用英語技能検定準1級	1
	実用英語技能検定2級	15
	実用英語技能検定準2級	41
	実用数学技能検定準2級	0
合 計		57

# 生徒の状況

## 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

市町名	島田市	藤枝市	焼津市	川根本町	牧之原市	菊川市	その他	合計
生徒数	278	111	44	16	3	35	28	515
構成比%	54.0%	21.6%	8.5%	3.1%	0.6%	6.8%	5.4%	100.0%

(2) 通学方法 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

区分	自転車	交通機関	徒歩	その他	合計
生徒数	457	23	11	24	515
構成比%	88.7%	4.5%	2.1%	4.7%	100.0%

## 2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		12	8		20
男子	1年	58	14	0	72
	2年	73	22	0	95
	3年	68	16	4	88
	計(A)	199	52	4	255
	構成比	78.0%	20.4%	1.6%	100.0%
女子	1年	48	46	1	95
	2年	25	40	2	67
	3年	47	44	7	98
	計(B)	120	130	10	260
	構成比	46.2%	50.0%	3.8%	100.0%
合計	(A+B)	319	182	14	515
	構成比	62.0%	35.3%	2.7%	100.0%

## 授 業 料 収 納 状 況 調

(令和6年度)

期 別	月	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況	
		1 年		2 年		3 年		計		納 期 内 収 納 額	納 期 後	収 入		
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額					収 納 率
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A 期首収納権利発生額=3,474,900円 (117人×9,900×3月)  B 収納権利増減(▲)額=▲0円 <内訳>  C 収納必要額 A-B=3,474,900円
	5													
	6													
	7	38	1,128,600	36	1,069,200	43	1,277,100	117	3,474,900	3,385,800	97.4		89,100	
	8											89,100	0	
	計	38	1,128,600	36	1,069,200	43	1,277,100	117	3,474,900	3,385,800	97.4	89,100	0	
二 期	7													A 期首収納権利発生額=5,494,500円 (111人×9,900×5月)  B 収納権利増減(▲)額=▲39,600円 <内訳>7月29日 1年退学▲1 9,900円×4月=▲39,600円  C 収納必要額 A-B=5,454,900円
	8	1	9,900					1	9,900	9,900	100.0			
	9													
	10	42	2,079,000	30	1,485,000	38	1,881,000	110	5,445,000	5,346,000	98.2		99,000	
	11											99,000	0	
	計	43	2,088,900	30	1,485,000	38	1,881,000	111	5,454,900	5,355,900	98.2	99,000	0	
三 期	12													A 期首収納権利発生額=4,356,000円 (110人×9,900×4月)  B 収納権利増減(▲)額=▲39,600円 <内訳>1月31日 1年退学▲1 9,900円×2月=▲19,800円 1月31日 2年退学▲1 9,900円×2月=▲19,800円  C 収納必要額 A-B=4,316,400円
	1	42	1,663,200	30	1,188,000	38	1,504,800	110	4,356,000	4,316,400	99.1		39,600	
	2	▲1	▲19,800	▲1	▲19,800			▲2	▲39,600	▲39,600		39,600	0	
	3													
	計	41	1,643,400	29	1,168,200	38	1,504,800	108	4,316,400	4,276,800	99.1	39,600	0	
合 計		122	4,860,900	95	3,722,400	119	4,662,900	336	13,246,200	13,018,500	98.3	227,700	0	D 収納必要額 13,246,200円

## 授 業 料 収 納 状 況 調

(令和7年度)  
(令和7年7月31日現在)

期 別	月	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況	
		1 年		2 年		3 年		計		納 期 内 収 納 額	納 期 後	収 入		
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額					収 納 率
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A 期首収納権利発生額=0円  B 収納権利増減(▲)額=▲0円 <内訳>  C 収納必要額 A-B=0円
	5													
	6													
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	D 収納必要額 0円

## 職 員 調

(令和 7年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	後藤昇太		□□□	□年□月	□□□
2	副校長	水田忍美		□□□	□年□月	□□□
3	教頭	原田まや子	国語	□□□	□年□月	□□□
4	事務長	滝口美紀	事務総括	□□□	□年□月	□□□
5	教諭	木村友哉	国語	□□□	□年□月	□□□
6	教諭	古堅瑞	国語	□□□	□年□月	□□□
7	教諭	西澤健太	国語	□□□	□年□月	□□□
8	教諭	堀尾恵美子	国語	□□□	□年□月	□□□
9	教諭	山田史人	国語	□□□	□年□月	□□□
10	教諭	石森圭	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
11	教諭	近藤祥子	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
12	教諭	杉山珠実	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
13	教諭	中釜伸也	公民	□□□	□年□月	□□□
14	教諭	早川和宏	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
15	教諭	三坂祐矢	地歴	□□□	□年□月	□□□
16	教諭	村瀬隆彦	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
17	教諭	芦澤佑輔	数学	□□□	□年□月	□□□
18	教諭	加藤育美	数学	□□□	□年□月	□□□
19	教諭	久保田大誠	数学	□□□	□年□月	□□□
20	教諭	嶋田佳是	数学	□□□	□年□月	□□□
21	教諭	清水淳樹	数学	□□□	□年□月	□□□
22	教諭	高塚一成	数学	□□□	□年□月	□□□
23	教諭	岡崎翔太	理科	□□□	□年□月	□□□
24	教諭	惟村洸稀	理科	□□□	□年□月	□□□

25	教諭	高橋真美	理科	□□□	□年□月	□□□
26	教諭	武末晃和	理科	□□□	□年□月	□□□
27	教諭	小林大	保健体育	□□□	□年□月	□□□
28	教諭	杉本佳之	保健体育	□□□	□年□月	□□□
29	教諭	日向城	保健体育	□□□	□年□月	□□□
30	教諭	村松聖俊	保健体育	□□□	□年□月	□□□
31	教諭	八木武史	保健体育	□□□	□年□月	□□□
32	教諭	鵜野彰乃	英語	□□□	□年□月	□□□
33	教諭	栗高美紀	英語	□□□	□年□月	□□□
34	教諭	佐藤友梨	英語	□□□	□年□月	□□□
35	教諭	梶山てる子	英語	□□□	□年□月	□□□
36	教諭	園田耕介	英語	□□□	□年□月	□□□
37	教諭	谷川理子	英語	□□□	□年□月	□□□
38	主任実習 助手	渡邊健司	理科	□□□	□年□月	□□□
39	養護教諭	福世浄恵		□□□	□年□月	□□□
40	主査	天野香里	管財・会計	□□□	□年□月	□□□
41	主査	大村直希	庶務・会計	□□□	□年□月	□□□
42	主事	富田和偉	庶務・会計	□□□	□年□月	□□□
平均年数					□年□月	

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	会計年度 任用職員	ニュートン・ ジョージ・ジョン	英語	□□□	□年□月	□□□
2	会計年度 任用職員	小川隆司	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
3	会計年度 任用職員	粕谷祥子	数学	□□□	□年□月	□□□
4	会計年度 任用職員	中山節郎	数学	□□□	□年□月	□□□
5	会計年度 任用職員	増田 勇	理科	□□□	□年□月	□□□
6	会計年度 任用職員	藤本敏彦	理科	□□□	□年□月	□□□
7	会計年度 任用職員	小関 宏美	音楽	□□□	□年□月	□□□
8	会計年度 任用職員	加藤 正仁	美術	□□□	□年□月	□□□
9	会計年度 任用職員	福島紗央里	書道	□□□	□年□月	□□□
10	会計年度 任用職員	永井 令子	家庭	□□□	□年□月	□□□
11	会計年度 任用職員	原川 恵次	情報	□□□	□年□月	□□□
12	会計年度 任用職員	池田 静夫	用務	□□□	□年□月	□□□
13	会計年度 任用職員	山内俊和	用務	□□□	□年□月	□□□
14	会計年度 任用職員	宮田 希	就学支援金事務	□□□	□年□月	□□□
15	学校医	岡西大介	内科	□□□	□年□月	□□□
16	学校医	鈴木 徹	眼科	□□□	□年□月	□□□
17	学校医	東 尊秀	耳鼻科	□□□	□年□月	□□□
18	学校 歯科医	関 英彦	歯科	□□□	□年□月	□□□
19	学校 薬剤師	清水雅之	薬剤師	□□□	□年□月	□□□

## 職員の年齢調

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	8	
30歳以上40歳未満	7	
40歳以上50歳未満	7	
50歳以上56歳未満	10	
56歳以上61歳未満	7	
61歳以上	3	再任用職員3人
計	42	平均年齢 45歳8月

## 健康管理

### 1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 48人
	職員数 48人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

### 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	0人
B2		要経過観察	0人
C1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	0人
C2		要経過観察	0人
D1	平常の勤務でよい。	要治療	11人 (11)人
D2		要経過観察	20人 (20)人
D3		医療不要	9人 (9)人
区分者計			40人 (40)人
未区分者数			2人
合 計			42人 (40)人

(1) 管理区分A～C2  
該当者に対する措置状況  
該当なし

(2) 未区分の理由  
ア 産休・育休 0人  
イ 新規採用 2人  
ウ 自己都合による未受診 0人  
エ その他 ( ) 0人

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年7月31日現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	166	1
計	166	1

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残高(円)	適 要
静岡銀行 島田支店	無利息型 普通預金	0039061	静岡県立島田高等学校 資金前渡者 校長 後藤昇太	0	給料振替用口座
静岡銀行 島田支店	無利息型 普通預金	0407407	(自振口)静岡県立島田高等学校 資金前渡者 校長 後藤昇太	0	公共料金等 自動振替用口座
残 高 合 計				0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		14,355,000	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		3,928,448	
計					16,893,690	18,283,448	0
(14) 工事費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,232,000	
						0	
計					0	1,232,000	0
(16) 公有財産購入費						0	
						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		1,032,900	
計					248,600	1,032,900	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		48,700,200	
計					51,355,600	48,700,200	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	283,250	
計					283,250	0
(14) 工事 請負費					0	
					0	
					0	
					0	
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	
					0	
					0	
					0	
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	
					0	
					0	
					0	
計					0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	19,200	
					0	
					0	
					0	
計					19,200	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金					0	
					0	
					0	
					0	
計					0	0

# 調 査 料 関 係 委 託

(令和6年度)

整理 番号	委託 業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 消防用設備 等保守点検 業務委託	サンコー防 災㈱	円 5,995,000	円 5,940,000	-99,000	円 5,841,000	一般	6.4.1 ～ 7.3.31	6.11.8 7.4.30	円 4,246,000 1,595,000	総合・機器点検 1回 機器点検 1回 防火設備点検 1回	島田高校 島田工業高校 島田商業高校 ふじのくに国 際高校 川根高校
	小計									5,841,000		
2	学校案内・ ポスター作 成業務	松本印刷㈱	273,185	273,185	0	273,185	随契	6.4.11 ～ 6.6.3	6.6.21	273,185	学校案内 4,000部 ポスター (A2版) 50枚 (A3版) 120枚 電子媒体 2部	随契1号 (少額)
3	新制服案内 作成業務	松本印刷㈱	90,090	90,090	0	90,090	随契	6.6.10 ～ 6.7.19	6.8.15	90,090	新制服案内 電子媒体 600部 2部	随契1号 (少額)
4	産業廃棄物 収集運搬業 務	日本産業廃 棄物処理㈱	82,182	82,182	0	82,182	随契	6.10.16 ～ 7.2.28	7.1.31	82,182	ホルマリン標本の収 集・運搬	随契1号 (少額)
5	産業廃棄物 処分業務	三光㈱	127,991	127,991	0	127,991	随契	6.10.16 ～ 7.2.28	7.1.31	127,991	ホルマリン標本の処 分	随契1号 (少額)
6	物品移設業 務	ライフメイ ド静岡㈱	12,760,000	11,770,000	0	11,770,000	一般	6.12.26 ～ 7.3.31	7.4.30	11,770,000	島田高等学校敷地内 における物品の移設	
7	産業廃棄物 収集運搬処 分業務	㈱アドバン ス中部サー ビス	99,000	99,000	0	99,000	随契	7.2.20 ～ 7.3.31	7.4.7	99,000	廃プラスチック・金 属くず・木くず・紙 くず・コンクリート ガラ・陶磁器くずの 収集・運搬及び処分	随契1号 (少額)
	事務関係計	7件								18,283,448		
	合計	7件								18,283,448		
参考 1	警備業務	セコム㈱		4,620,000	0	4,620,000		元.10.1 ～ 6.9.30			警報機器の整備、機 器及び自火報装置に よる監視	長期継続契約 島田工業高校
参考 2	警備業務	セコム㈱		5,940,000	0	5,940,000		6.10.1 ～ 11.9.30			警報機器の整備、機 器及び自火報装置に よる監視	長期継続契約 島田工業高校
参考 3	自家用電気 工作物保安 管理業務	静岡ビル保 善㈱		2,739,000	325,766	3,064,766		6.4.1 ～ 7.3.31			需要設備容量150KVA (9月から675KVA) 点検A 11回 点検B 1回	川根高校
参考 4	浄化槽保守 点検業務	ニッケン消 毒㈱		1,463,000	0	1,463,000		6.4.1 ～ 7.3.31			浄化槽6箇所 3ヶ月に1回点検	島田商業高校
参考 5	可燃物収 集・運搬及 び処理業務	環境のミカ タ㈱		運搬料 1回5,720円 処分料 1kg22円	0	運搬料 1回5,720円 処分料 1kg22円		6.4.9 ～ 7.3.31			可燃物収集運搬処分 週1回	単価契約 島田工業高校
参考 6	水泳プール 浄化装置保 守点検業務	清化工業㈱		220,000	0	220,000		6.4.26 ～ 6.11.29			始業、中間、終了点 検	島田商業高校
参考 7	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	㈱コーセイ 産業		1,643,290	0	1,643,290		6.7.26 ～ 6.10.31			建築物及び建築設備 点検	ふじのくに国 際高校
	計	7件										

# 委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	委託 業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 消防用設備 等保守点検 業務委託	サンコー防 災㈱	円 7,491,000	円 7,370,000	0	円 7,370,000	一般	7.4.1 ～ 8.3.31		円	総合・機器点検 1回 機器点検 1回 防火設備点検 1回	島田高校 島田工業高校 島田商業高校 ふじのくに国 際高校 川根高校
2	学校案内・ ポスター作 成業務	松本印刷㈱	347,160	283,250	0	283,250	随契	7.4.21 ～ 7.6.9	7.6.23	283,250	学校案内 4,000部 ポスター (A2版) 50枚 (A3版) 120枚	随契1号 (少額)
	事務関係計	2件								283,250		
	合計	2件								283,250		
参考 1	警備業務	セコム㈱	/	5,940,000	0	5,940,000	/	6.10.1 ～ 11.9.30	/	/	警報機器の整備、機 器及び自火報装置に よる監視	長期継続契約 島田工業高校
参考 2	自家用電気 工作物保安 管理業務	静岡ビル保 善㈱	/	3,388,000	0	3,388,000	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	需要設備容量675KVA 点検A 11回 点検B 1回	川根高校
参考 3	浄化槽保守 点検業務	ニッケン消 毒㈱	/	1,540,000	0	1,540,000	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	浄化槽6箇所 3ヶ月に1回点検	島田商業高校
参考 4	可燃物収 集・運搬及 び処理業務	環境のミカ タ㈱	/	運搬料 1回5,720円  処分料 1kg22円	0	運搬料 1回5,720円  処分料 1kg22円	/	7.4.8 ～ 8.3.31	/	/	可燃物収集運搬処 分 1回	単価契約 島田工業高校
参考 5	水泳プール 浄化装置保 守点検業務	清化工業㈱	/	231,000	0	231,000	/	7.4.28 ～ 7.11.28	/	/	始業、中間、終了点 検	島田商業高校
	計	5件										

## 負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会	円 4,000	6.5.14
2	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	円 2,000	6.7.19
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	4～6月に在籍した生徒407人の授業料に充当	12,087,900	6.7.31
4	全国普通科高等学校長会第74回総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	開催要項による	全国普通科高等学校長会第74回総会・研究協議会	6,000	6.8.30
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	7～11月に在籍した生徒411人の授業料に充当	20,344,500	6.10.31
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	7月に在籍した生徒1人及び7～8月に在籍した生徒1人の計2人の授業料に充当	29,700	6.10.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	10月に転学した生徒1人の11月分の授業料充当分の返納	△ 9,900	6.11.29
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	12～3月に在籍した生徒410人の授業料に充当	16,236,000	7.1.31
	計	8件			48,700,200	

## 負担金支出調

(令和7年度)  
(令和7年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会	円 4,000	7.5.14
2	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	実施要項による	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	円 13,200	7.5.27
3	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	円 2,000	7.7.23
	計	3件			19,200	

建 築 工

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
					当初額	変更増減額	計	
1	教育管理費	島田高等学校第1体育館排煙装置更新工事	島田市稲荷地内	1,232,000円	1,232,000円	0円	1,232,000円	随契
		合計	1件	1,232,000円	1,232,000円	0円	1,232,000円	
参考1	教育管理費	令和5年度[第35-Z1508-01号]島田高等学校管理教室棟耐震補強他工事(建築)	島田市稲荷地内他	1,067,000,000円	1,023,000,000円	0円	1,023,000,000円	一般
参考2	教育管理費	令和5年度[第35-Z1508-01号]島田高等学校管理教室棟耐震補強他工事(電気)	島田市稲荷地内他	226,512,000円	214,500,000円	15,664,000円	230,164,000円	一般
参考3	教育管理費	令和5年度[第35-Z1508-01号]島田高等学校管理教室棟耐震補強他工事(機械)	島田市稲荷地内他	276,848,000円	273,350,000円	9,614,000円	282,964,000円	一般
		合計	3件	1,570,360,000円	1,510,850,000円	25,278,000円	1,536,128,000円	

令和7年度執行なし

事 調

(令和6年度)

受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財 産台帳	摘要
ビー・アイ・ エス(株)	着手 6.7.16 完成 6.8.28	1,232,000円	排煙装置更新 ハンドルボックス2セット メインケーブル 2セット 外	—	随契(少額1号) 令達 6.6.18
		1,232,000円			
大河原建設(株)	着手 5.10.14 完成 7.2.12	1,023,000,000円	管理教室棟、特別教室棟の耐震 補強に係る建築工事 1式	—	R5債務 本庁経理 交通基盤部建築管理 局建築工事課
高橋電気工業 (株)	着手 5.10.27 完成 7.2.12	230,164,000円	管理教室棟、特別教室棟の耐震 補強に係る電気設備工事 1式	—	R5債務 本庁経理 交通基盤部建築管理 局設備課
(株)増商	着手 5.10.27 完成 7.2.12	282,964,000円	管理教室棟、特別教室棟の耐震 補強に係る機械設備工事 1式	—	R5債務 本庁経理 交通基盤部建築管理 局設備課
		1,536,128,000円			

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,580,171		千円 150,669		千円 11,749		千円 1,719,091	
土地	m <sup>2</sup> 34,347.49	1,435,619	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 34,347.49	1,435,619	
立木竹	本 81	1,989	本		本 6	49	本 75	1,940	廃止による減
建物	m <sup>2</sup> 建 6,597.12 延12,301.72	130,363	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	10,853	m <sup>2</sup> 建 6,597.12 延12,301.72	119,510	価格改定による減
工作物	個 47	12,200	個 4	150669	個 8	847	個 43	162,022	新設による増、廃止及び価格改定による減
公有財産に準ずるもの		121		0		0		121	
電話加入権	件 5	121	件		件		件 5	121	

公 有 財 産 調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

区分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年7月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,719,091		千円 0		千円 0		千円 1,719,091	
土地	m <sup>2</sup> 34,347.49	1,435,619	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 34,347.49	1,435,619	
立木竹	本 75	1,940	本		本		本 75	1,940	
建物	m <sup>2</sup> 建 6,597.12 延12,301.72	119,510	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 建 6,597.12 延12,301.72	119,510	
工作物	個 43	162,022	個		個		個 43	162,022	
公有財産に準ずるもの		121		0		0		121	
電話加入権	件 5	121	件		件		件 5	121	

借地借家等調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	河川敷地	島田市稲荷1丁目3994-2			m <sup>2</sup> 11.12		免除	H28.4.1 ～ R8.3.31	島田市長	体育館渡廊下敷地
2	土地	道路敷地	島田市稲荷町3975			m <sup>2</sup> 1.22		免除	R4.4.1 ～ R9.3.31	静岡県知事(島田土木事務所)	学校案内標柱敷地
3	土地	河川敷地	島田市稲荷1丁目4045-13			m <sup>2</sup> 2.00		免除	H28.4.1 ～ R8.3.31	島田市長	焼却場跡地への通行路敷地
4	土地	学校敷地	島田市稲荷1丁目3909-2			m <sup>2</sup> 480.13		免除	R2.4.1 ～ R12.3.31	島田市長	法定外道路学校用地
5	土地	河川敷地	島田市稲荷1丁目3909-10			m <sup>2</sup> 7.40		免除	H30.4.1 ～ R10.3.31	島田市長	自転車置場への通行路敷地
6	土地	河川敷地	島田市稲荷1丁目3909-10			m <sup>2</sup> 9.50		免除	H30.4.1 ～ R10.3.31	島田市長	生活館への通行路敷地
7	土地	学校敷地	島田市稲荷4044-2			m <sup>2</sup> 1,664.95		免除	H29.10.1 ～ R9.3.31	島田市長	グラウンド観覧席・堤防敷地
8	土地	学校敷地	島田市稲荷1丁目3992-2			m <sup>2</sup> 0.20		免除	R5.4.1 ～ R15.3.31	島田市長	硬質塩化ビニル管敷地
	計					m <sup>2</sup> 2,176.32					
						m <sup>2</sup> 0.20					
9	建物	事務所建	島田市稲荷1丁目7-1	鉄筋コンクリート造		m <sup>2</sup> 321.66 751.82		無償	R7.4.1 ～ R8.3.31	島田高等学校同窓会 会長	生活館兼同窓会館
10	建物	雑屋建	島田市稲荷1丁目7-1	鉄骨造折板葺		m <sup>2</sup> 99.75 178.50		無償	R7.4.1 ～ R8.3.31	一般社団法人静岡県立島田高等学校後援会 会長	クラブ部室
11	建物	雑屋建	島田市稲荷1丁目7-1	鉄骨造垂鉛葺平屋建		m <sup>2</sup> 99.69 99.69		無償	R7.4.1 ～ R8.3.31	島田高等学校野球部父母の会 会長	雨天投球練習場
	計					m <sup>2</sup> 521.10 1,030.01					

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額						
				5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
債務負担行為	仮設校舎賃借貸借契約	仮設校舎賃借 (契約日) 令和4年9月2日	399,201,000	276,312,000	70,884,000	52,005,000	0	0	0
長期継続契約	電子複写機賃借貸借契約	島田高校外4校分 電子複写機11台 (契約日) 令和6年4月1日	9,754,800	0	1,950,960	1,950,960	1,950,960	1,950,960	1,950,960

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	本 4	円 1,500	円 6,000	R3.4.1 ～ R8.3.31	西日本電信電話株式会社静岡支店長	電気通信線路設備用敷地 本柱2本 支線2条
2	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 0.60		免除	R5.4.1 ～ R10.3.31	島田市長	避難地標識設置用敷地
3	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 99.75		免除	R2.4.1 ～ R7.3.31	一般社団法人静岡県立島田高等学校後援会長	クラブ部室設置用敷地
4	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 1.52		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	一般社団法人静岡県立島田高等学校後援会長	記念碑設置用敷地
5	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	本 3	円 1,500	円 4,500	R3.4.1 ～ R8.3.31	中部電力パワーグリッド株式会社静岡支社島田営業所長	電柱敷地 本柱1本 支柱1本 支線1条
6	建物	事務所建	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	0.40m <sup>2</sup>		免除	R5.4.1 ～ R10.3.31	島田市長	防災行政無線設置
7	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 321.66		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	静岡県立島田高等学校同窓会長	生活館兼同窓会館用敷地
8	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	0.81m <sup>2</sup> 39.00m <sup>2</sup> 0.06m <sup>2</sup>		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	一般社団法人静岡県立島田高等学校後援会長	ウォーターリンド設置用敷地
9	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 2.00		1,560	R7.4.1 ～ R10.3.31	一般社団法人静岡県立島田高等学校後援会長	自動販売機設置用敷地
10	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 21.82		免除	R5.4.1 ～ R10.3.31	島田市長	避難地用防災物資倉庫設置用敷地

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
11	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 438.42	円	円	R3.4.1 ～ R8.3.31	一般社団法人 静岡県立島田高等学校後援会長	インター ロッキング 外灯時計柱 設置用敷地
12	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 0.47			R5.4.1 ～ R10.3.31	静岡県立島田高等学校同窓会長 一般社団法人 静岡県立島田高等学校後援会長	記念碑 設置用敷地
13	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	7.17m <sup>2</sup> 9.00m			R2.4.1 ～ R7.3.31	島田市長	非常用給水 タンク設置 用敷地
14	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 5.54			R7.4.1 ～ R12.3.31	静岡県立島田高等学校PTA会長	生徒用防災 物資倉庫 設置用敷地
15	土地 建物	学校敷地 事務所建	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	12.80m <sup>2</sup> 3.30m <sup>2</sup>			R3.4.1 ～ R8.3.31	一般社団法人 静岡県立島田高等学校後援会長	後援会職員 駐車場、執 務場所設置
16	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 873.00			R5.4.1 ～ R10.3.31	島田市長	公衆用道路 敷地
17	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 318.27			R7.4.1 ～ R12.3.31	島田市長	公衆用水路 敷地
18	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	2.43m <sup>2</sup> 32.80m			R7.4.1 ～ R12.3.31	島田市長	公衆用暗渠 水路敷地
19	工作物	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 0.22			R7.4.1 ～ R10.3.31	島田市長	海拔表示板 設置用敷地
20	土地	学校敷地	島田市 稲荷1丁目7-1	-	-	m <sup>2</sup> 23.43			R5.4.1 ～ R10.3.31	島田市長	公衆用水路 敷地

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年 額			
21	土地	学校敷地	島田市 稲荷1 丁目7 -1	-	-	m <sup>2</sup> 4.00	円	円 679,000	R3.4.1 ～ R8.3.31	コカ・コーラボト ラーズジャパン(株) ベンディング中部 日本地区統括部ベ ンディング浜松支 店	自動販売機 設置用敷地
22	土地	学校敷地	島田市 稲荷1 丁目7 -1	-	-	m <sup>2</sup> 2.00		330,000	R5.4.1 ～ R10.3.31	コカ・コーラボト ラーズジャパン(株) ベンディング中部 日本地区統括部ベ ンディング浜松支 店	自動販売機 設置用敷地
23	建物	事務所建	島田市 稲荷1 丁目7 -1	-	-	20.70m <sup>2</sup>		免除	R2.4.1 ～ R7.3.31	静岡県立島田高 等学校PTA会 長	懸垂幕昇降 装置設置
24	建物	事務所建	島田市 稲荷1 丁目7 -1	-	-	3.85m <sup>2</sup>		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	一般社団法人 静岡県立島田高 等学校後援会長	昼食用パン 販売場所 設置
25	土地	学校敷地	島田市 稲荷1 丁目7 -1	-	-	m <sup>2</sup> 11.30		免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	島田市長	避難地用 防災物資 倉庫設置 用敷地
26	土地	学校敷地	島田市 稲荷1 丁目7 -1	-	-	m <sup>2</sup> 1.00		780	R7.4.1 ～ R12.3.31	西日本電信電話 株式会社静岡支 店長	公衆電話 設置用敷地
27	土地	学校敷地	島田市 稲荷1 丁目7 -1	-	-	m <sup>2</sup> 4.21		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	一般社団法人 静岡県立島田高 等学校後援会長	モニュメン ト設置用 敷地
29	土地 建物	学校敷地 事務所建	島田市 稲荷1 丁目7 -1	-	-	1.51m <sup>2</sup> 13.72m <sup>2</sup>		免除	R7.4.1 ～ R10.3.31	一般社団法人 静岡県立島田高 等学校後援会長	第1会議室 空調設備 設置
合 計								1,021,840			

# 主要備品調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名・規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	3-3	プロジェクター	プロジェクター	毎日(年間180日) 授業他で使用	令和3年3月	円 3,506,250
2	1-99	その他の庁用器具	緞帳 電動式	年4回 生徒総会・文化祭他で使用	昭和55年6月	2,000,000
3	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式)	毎日(年間180日) 授業他で使用	令和3年3月	1,904,109
4	2-2	放送装置	放送装置	月9回(年間108日) 式典・学年集会で使用	平成26年2月	1,265,250
5	10-7	鍵盤楽器	ピアノ ヤマハSX101RWnc	毎日(年間180日) 音楽授業で使用	平成6年1月	829,150
6	1-99	その他の庁用器具	校旗 680×1000	年間10日 式典他で使用	平成30年2月	648,000
7	3-3	プロジェクター	プロジェクター他 EB-1975W	毎日(年間180日) 情報授業で使用	平成28年3月	621,540
8	3-3	映写機用機器	プロジェクター他	毎日(年間180日) 物理授業で使用	平成14年7月	598,290
9	10-7	鍵盤楽器	ピアノ ヤマハG5-E	年間3日 式典で使用	昭和46年3月	595,000
10	2-1	その他の情報処理機器	サーバー	週3回 情報の授業で使用	平成28年3月	506,250
11	2-2	放送装置	屋外放送設備	年間10日 グラウンド行事で使用	平成27年2月	464,400
12	4-1	X線装置	X線装置	年間10日 物理の授業で使用	平成22年3月	439,950
13	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール テクノ3-21-510	毎日(年間180日) 体育授業で使用	平成16年3月	393,750
14	3-3	プリンター	ポスタープリンター エムビーエスST-R	週1~2回 授業他で使用	令和3年4月	382,800
15	1-4	戸棚	楽器戸棚	毎日(年間180日) 吹奏楽部活動で使用	平成9年12月	378,000
16	1-4	たな	木製書架 A型傾斜単式2連7段	毎日(年間180日) 図書館書籍配架で使用	令和2年12月	365,200
17	1-4	たな	木製書架 A型傾斜単式2連7段	毎日(年間180日) 図書館書籍配架で使用	令和3年8月	365,200
18	10-7	打楽器	ティンパニ ヤマハTP529C	毎日(年間180日) 吹奏楽部活動で使用	平成7年11月	361,500
19	1-4	書類収納庫	耐火書庫 TOYO CS-23	毎日 卒業生台帳他の保管	平成14年2月	359,100
20	1-7	シュレッダー	シュレッダー 明光商会MSD-F31SF	毎日 機密書類廃棄で使用	平成29年3月	356,400